大和屋だけのオリジナル

ドイツ生まれの防水・断熱ボード

LUX（室内用）

▲シャワールーム

〈特徴〉

おすすめ

タイル・塗り壁下地材の施工に

・強くて軽い
・乾式なので、施工スピード大幅アップ
・平面だけでなく、曲面にも対応

おすすめ

水廻りの床・壁リフォームの施工に

・高い防水性（用途に応じて２種類のボードを用意）
・古いタイルの上にも直接施工
・既存の木床の上にシャワールームも作れます

弊社にて、完全施工致します。

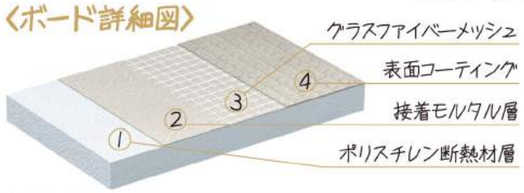
施工性に優れ、
意匠的にもデザインの幅が
広がります

Before

After
（漆喰＋タイル）

※写真は表面を仕上げた物になります

〈ボード詳細図〉



ボード	EL（簡易耐水）	600×2500	厚 12・30・50
	VK（完全耐水）	600×2500	厚 12・30・50
	SL（長手曲面）	600×2500	厚 50
	SQ（短手曲面）	600×2500	厚 50
洗面化粧台	LAVADO G	585×1170	厚 100
	LAVADO E	585×1170	厚 100

簡易耐水とは…洗面所の壁など、湿気の多い所や玄関タイル下地の断熱欠損対策にお使いいただけます。（熱伝導率 0.035W/mK）
完全耐水とは…シャワー室や浴室など、直接水のかかる所にお使いいただけます。

（野本）

海外だより ～Earth Culture～

～は、オランダ（オランダ）

今回は、オランダを紹介します。オランダと言えば風車を想像する人が多いと思いますが、自転車人口の多さです。駅の近く、マーケットには必ず自転車置き場があり、たくさんの自転車が整然と駐輪されていました。

さて、この自転車文化ですが、聞くところによると20世紀初めから自転車道が整備されたようです。これにはオランダの第一次世界大戦不参加など、他国では軍備に当てる費用を自転車道などのインフラ整備に充てられたという背景もあり、現在の「自転車で走りやすい道」が作られていったそうです。

ヨーロッパには環境先進国が非常に多いですが、住宅に関わる高性能なシステム以外にも、昔から根付いた環境意識が非常に現れていると感じました。

（石原）

イベント掲示板

勉強会続報！
『関東で快適な住まいと環境を考える会』

第三回目の「今、求められる地域住宅」を学ぶ勉強会を開催しました。

●11月6日（大宮ソニックシティ・会議室）
『自社ブランドをつくる』
講師：森 みわ　パッシブハウス・ジャパン 代表理事

8月より三回シリーズで開催した「今、求められる地域住宅」を学ぶ勉強会。このたび、最終回を迎えました。

最終回のテーマは「自社ブランドをつくる」実際に建築されたパッシブハウスをモデルに、一次エネルギー消費量や光熱費の問題、燃費計算の仕組み等、これからの建築を考えるうえで必要な問題を数多く学びました。パッシブハウスの考え方を少しでも今後の仕様に取り入れていきたいという意見を多数いただきました。

勉強会後は森先生を交えた懇親会

今後も、住環考では様々な勉強会や見学会の開催を予定しております。
詳細はかわら版通信などでお知らせいたしますのでぜひご参加ください。

（染野）

マメ知識

『カビ・きのこ（菌）』の話
（後編）

菌の話」後編は、高気密高断熱住宅の天敵、カビ菌の話です。前編で述べた通り、木材を餌にして腐らせる菌は、決して強い菌ではありません。一方カビ菌は、木材腐朽菌より生命力も強いですし、何でも食べます。

例えば、壁のクロスの接着剤、柱に付いた人の手の皮脂、合板に付いた花粉や樹脂など。カビの食料を完全に除去することは不可能です。

ですので、ここでも湿度、特に湿度のコントロールが鍵になります。一般的に、カビは湿度20℃以上、相対湿度80%以上で生長が盛んになると言われています。シックハウスの原因でもある室内側のカビは、上記の条件が室内側でそろう夏場に成長していますので、夏場の湿度コントロールは非常に重要です。

▲耐火ボードにカビが生えた様子

カビは強い菌です。弱点を賢く突いて、上手に付き合っていきましょう。

（宮崎）

編集後記

早いもので、かわら版通信vol.6が2012年の最終号となります。年末の総選挙により、建設業界を取り巻く環境も大きく変わる可能性もあります。その波に飲み込まれることなく、波を乗りこなして、2013年を更なる飛躍の年にしていきたいものです。
年の瀬、お正月と体に無理のかかる季節となります。お体には十分お気を付けください。

（石田）

レッドパイン　大和屋　検索
受発注センター 048-526-1008